

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公表番号】特表 2019-520842 (P2019-520842A)

【公表日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-030

【出願番号】特願 2019-502202 (P2019-502202)

【国際特許分類】

C 1 2 N 9/14 (2006.01)

C 1 2 N 1/02 (2006.01)

C 1 3 K 1/02 (2006.01)

C 1 2 P 7/06 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 9/14

C 1 2 N 1/02

C 1 3 K 1/02

C 1 2 P 7/06

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 8 日 (2020.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

限外濾過には鉍物膜を使用することが好ましい。例えば、カットオフ閾値が 5 ~ 15 kDa、好ましくは 8 ~ 12 kDa、通常は約 10 kDa の管状セラミック膜が使用される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

この連続法の全体の収率は 27 % である。デカンテーション及び遠心分離の工程で得られるペレット並びに MF 工程で得られる保持液をリサイクルし、それらを更なる分離サイクル（遠心分離、MF、UF）にかけることによって、50 % の収率に近づけることが可能である。

実施例 3b： 本発明による連続法

フィルタープレス、次いでセラミック膜 MF 及びセラミック膜 UF による分離の連続法。